

実験授業

マシン 機械と学ぶ「くずし字」 (はじめの一步)

江戸時代以前の文字を読む。古典や歴史が好きな人向けの話？

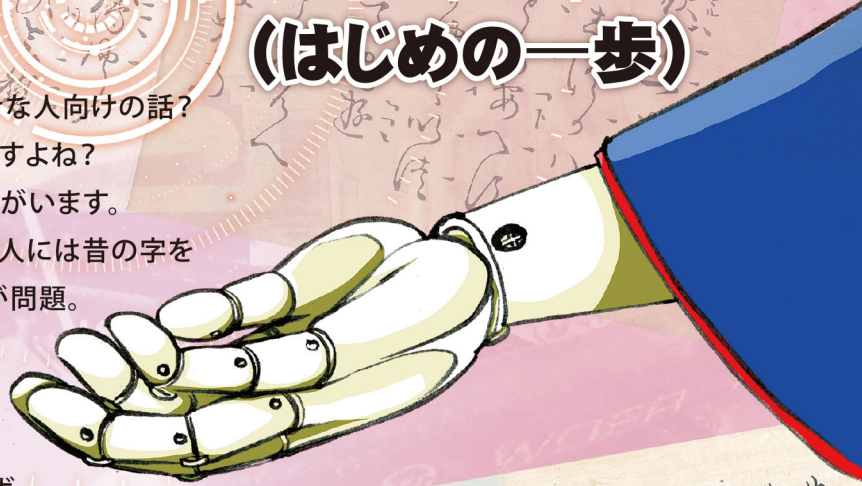
いえいえそうでもありません。OCR、AIってありますよね？

この技術で「くずし字」を読もうとしている人たちがいます。

文系の人にはそれがどんな技術なのか、理系の人には昔の字を読むのがどんなことかが、よくわからない。そこが問題。

そんなハテナを橋渡しして、人間の未来にAIはどうあるべきかを一緒に考えるのが目的です。

くずし字に興味がある人、AI技術に興味がある人、古典文学の研究者とシステム開発者がコラボしたこの教室で、あなたと機械を育てる実験授業を体験してみませんか？



授業内容

- 凸版印刷が新しく開発したシステム使って、美しい光悦謡本でくずし字を学びます。
- くずし字学習／読解システムとは。OCR・AI技術の現在について考えます。
- 慶應義塾大学の特別文庫で、古い時代の素敵な本を(直に)見て、おかしの本古典籍の歴史に触れます。

募集 参加費 無料、ただし、全日参加できる人のみ。定員30人。
(慶應学部生以外の方は、お問い合わせ下さい。)

しめきり 2019年 8月31日(土)

講師 宮川真弥(天理大学附属天理図書館司書研究員)

大澤留次郎(凸版印刷株式会社)

佐々木孝浩(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫文庫長)

主催・企画 慶應義塾大学教養研究センター/津田真弓(慶應義塾大学経済学部教授)

後援 日本近世文学会

申込み
問合せ <http://user.keio.ac.jp/~sakura/kuzushiji/>



全3日(各90分授業×2コマ)

日吉キャンパス(来往舎)

Lesson 1・2—9月28日(土) 13:00~16:15

Lesson 3・4—10月12日(土) 13:00~16:15

三田キャンパス(斯道文庫)

Special lesson —10月19日(土) 13:00~16:15